

**製品名: THIK-2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18878**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	47kDa

**抗原情報**

遺伝子名	KCNK12
別名	KCNK12; Potassium channel subfamily K member 12; Tandem pore domain halothane-inhibited potassium channel 2; THIK-2
遺伝子 ID	56660.0
SwissProt ID	Q9HB15
免疫原	抗血清はヒト KCNK12 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 336-385

**背景**

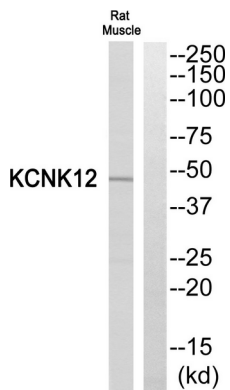
カリウム 2 ポアドメインチャンネルサブファミリー K メンバー 12 (KCNK12) ホモサピエンス この遺伝子は、2つのポア形成 P ドメイン

ンを含むカリウムチャンネルタンパク質スーパーファミリーのメンバーの1つをコードしています。この遺伝子産物が機能的なチャンネルであることは示されていませんが、活性には他の非ポア形成タンパク質を必要とする可能性があります。[RefSeq 提供、2008年7月]機能: カリウムチャンネルサブユニットと推定されます。異種システムではチャンネル活性は観察されませんでした。機能的なチャンネルを形成するには、他のタンパク質との結合が必要になる可能性があります。類似性: 2ポアドメインカリウムチャンネル (TC 1.A.1.8) ファミリーに属します。サブユニット: ヘテロダイマー

## 研究分野

-

## 画像データ



KCNK12 抗体のウェスタンブロット解析。右レーン は KCNK12 ペプチドでブロックされています。